

**ヘッダレスパケット送信モード**

**1. システム構成**

宛先を予め設定することで、パケット送信モードで必要だったコマンドを不要にしたモードです。基本的には 1:1 通信ですが、DAS コマンドにより宛先を変更することができます。送信側では、レジスタで設定した送信条件(送信トリガ)により、無線送信を開始します。また、レジスタ設定により通信結果のレスポンス(あり/なし)の設定ができます。

参考:RS232C を使用する場合は、スタータキットをご利用になれます。



**2. レジスタ設定**

パソコンとスタータキットを RS232C ストレートケーブルで接続して、Futaba Term などのターミナルソフトを使い、REG コマンドでレジスタを設定する例を示します。

【親機】
REG00:00H <u>アドレス 0</u>
REG01:F0H
REG02:01H <u>宛先アドレス 1</u>
REG03:FFH <u>ヘッダレスモード</u>
REG04:00H
REG05:00H
REG06:03H <u>周波数グループ(3 波モード:REG07、08、09)</u>
REG07:18H <u>周波数 1(24ch)</u>
REG08:2AH <u>周波数 2(42ch)</u>
REG09:3CH <u>周波数 3(60ch)</u>
REG10:01H
REG11:0AH <u>再送回数:10 回</u>
REG12:50H
REG13:00H <u>通信結果レスポンス(あり)</u>
REG14:00H
REG15:00H
REG16:00H
REG17:64H
REG18:8FH
REG19:00H
REG20:00H
REG21:09H
REG22:0FH
REG23:00H
REG24:C1H <u>送信トリガ([C<sub>R</sub>][L<sub>F</sub>])</u>
REG25:0FH
REG26:01H
REG27:FFH
REG28:FFH

【子機 1】
REG00:01H <u>アドレス 1</u>
REG01:F0H
REG02:00H <u>宛先アドレス 0</u>
REG03:FFH <u>親機同様</u>
REG04:00H
REG05:00H
REG06:03H <u>親機同様</u>
REG07:18H <u>親機同様</u>
REG08:2AH <u>親機同様</u>
REG09:3CH <u>親機同様</u>
REG10:01H
REG11:0AH <u>親機同様</u>
REG12:50H
REG13:00H <u>親機同様</u>
REG14:00H
REG15:00H
REG16:00H
REG17:64H
REG18:8FH
REG19:00H
REG20:00H
REG21:09H
REG22:0FH <u>親機同様</u>
REG23:00H
REG24:C1H
REG25:0FH
REG26:01H
REG27:FFH
REG28:FFH

## 《注意事項》

- レジスタを設定する前に、無線機を初期化することをお勧めします。
- レジスタ設定を反映させるには、**必ず@RST コマンドを入力**してください。
- シリアルボーレートを変更した場合、PC ターミナルソフトのボーレート、パリティ、スタート/ストップビットを設定した値に合わせてください。
- 複数の周波数を使用するグループモード(ここでは 3 波)を使用する場合、再送回数は少なくとも使用する周波数の 2 乗倍以上の回数にしてください。
- 送信トリガは、REG24 の bit6 で設定します。

### 3. 通信手順

## (1) 親機から、子機 1 への通信

```
[親機] > HELLO[C][R][L][F] [子機 1] < HELLO[C][R][L][F]
[親機] < P1[C][R][L][F]
[親機] < P0[C][R][L][F](通信成功) 又は N1[C][R][L][F](通信失敗)
```

## (2) 親機から、子機 2(アドレス 2)への通信

```
[親機] > @DAS002[C][R][L][F]
[親機] < P0[C][R][L][F]
[親機] > HELLO[C][R][L][F] [子機 2(アドレス 2)] < HELLO[C][R][L][F]
[親機] < P1[C][R][L][F]
[親機] < P0[C][R][L][F](通信成功) 又は N1[C][R][L][F](通信失敗)
```

## 《注意事項》

- 通信レスポンスを“なし”に設定した場合、通信の成功/失敗は送信側で判断できなくなります。お客様のアプリケーションにて、対応をお願いします。
- 宛先は REG02 で設定したアドレスの局になりますが、@DAS コマンドで切り替えることも可能です。
- ユニキャスト送信時は、宛先局からの ACK が返れば、その時点で再送は終了します。
- REG02 を FFH に設定すると、ブロードキャスト送信になります。このときの送信は、設定した再送回数分送信します。
- ヘッダレスパケット送信モードではメッセージが 128 バイトを超えた時点で送信を行います。最大 480 バイトまでバッファしますが、メッセージを連続で入力した場合、送信が間に合わずにバッファが満杯になり消失する事があります。このような場合は、ハードフロー制御(REG21 の bit1)を有効に設定してください。
- コマンドヘッダをデータとして送信したい場合は、コマンド認識インターバル(REG15)を設定する必要があります。詳細については、取扱説明書をご参照ください。